

2024年11月28日
株式会社ビデオリサーチ

【開催報告】「VR FORUM 2024 ～コンテンツから広がる“その先”へ～」 コンテンツビジネスの現在地とこれからの展望についてディスカッション

株式会社ビデオリサーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長執行役員:石川 豊)は、2024年11月27日(水)にメディアや生活者の最新情報をお届けするセミナーイベント「VR FORUM 2024」を開催し、コンテンツビジネスの現在地とこれからの展望についてディスカッションを行いました。全6セッションで総勢16名が登壇し、4,700人を超える^(※)多くの方に会場ならびにオンラインでご参加いただきました。

※参加人数のユニーク数

メディアや生活者を取り巻く環境が大きく変化していく中、コンテンツを軸としたビジネスモデルの多角化が加速しています。「VR FORUM 2024」では、こうしたコンテンツビジネスの重要性の高まりを捉え、「コンテンツから広がる“その先”へ」をテーマとして開催しました。

株式会社TBSテレビ 代表取締役社長 龍宝 正峰氏、株式会社電通 代表取締役社長執行役員 佐野 傑氏、両氏を迎え、当社代表 石川のナビゲートによるセッション『これからのコンテンツビジネスと、“その先”』では、目指すコンテンツビジネスの方向性や「日本のコンテンツ産業」の成長に必要なことなど、これからのコンテンツビジネスへの期待が示されました。それに続き、変化する生活者とメディアに向き合い、最前線で活躍されるキーパーソンの方々の経験・知見を交え、示唆に富んだディスカッションが展開されました。

主催者コメント：代表取締役社長執行役員 石川 豊

メディアの中心に存在し、その規模が年々拡大傾向にあるコンテンツ市場。

そのコンテンツを生み出し、届ける媒体社、そしてそこに共感し、支援する広告主、広告会社の皆様とともに、コンテンツビジネスのこれからの未来について考える一日とさせていただきます。コンテンツ作りにかかる作り手の熱量や生活者を巻き込んだ熱狂作り、地域資源を最大限に生かした取り組みやコンテンツ起点でのビジネス拡張の可能性、そして各種情報を生活者にどう効果的に届けるのかなど様々な視点から、コンテンツから広がる“その先”に関する示唆を登壇者の皆様からいただきました。

当社といたしましても、こうして作られたコンテンツが、どのような生活者にどの程度届き、どのように感じられ、どう熱狂が作られているのか、生活者の姿を正しく捉え、可視化することで、皆様のビジネスのご支援ができるよう努めるとともに、社会に貢献してまいります。

■「VR FORUM 2024」アーカイブ動画の配信

事前登録をされた方を対象に、全6セッションのアーカイブ動画を2024年11月29日(金)～2024年12月26日(木)12時までご案内しております。特設サイト(<https://vrforum.jp/2024>)からぜひご視聴ください。

なお、各セッションのレポートは当社が運営するWebメディア「VR Digest+」(<https://www.videor.co.jp/digestplus/>)にて12月下旬から順次公開予定です。



■ VR FORUM 2024 開催概要

開催日時 2024年11月27日(水) 10時30分開演～17時40分終了
 開催形式 会場(東京ミッドタウンホール)およびオンライン
 参加費 無料(事前登録制)
 プログラム 全6セッション 詳細は特設サイト(<https://vrforum.jp/2024>)でも公開中

■ プログラム

<p>10:30-10:45 OPENING Opening</p> <p>近年「推し活」「イマープ」「ファンベース」などのキーワードに表されているように、生活者はコンテンツを中心に日常生活を謳歌しています。様々なデバイスやメディアの発展もその後押しとなり、そんな生活者の変化に呼応して、放送局や動画配信プラットフォームもコンテンツを軸としたビジネスモデルの多角化を加速しています。こうした背景の元、VR FORUM 2024はサブタイトルを「コンテンツから広がる“その先”へ」と題しました。開催にあたり、各セッションの見どころについてご案内いたします。</p>	 <p>株式会社ビデオリサーチ 総務・ソリューションズユニット サード事業部グループ プロデューサー 平野 竜太郎</p>
<p>10:45-11:50 SESSION1 【特別会談】 これからのコンテンツビジネスと、“その先”</p> <p>近年、各企業がコンテンツを軸としたビジネスモデルの多角化を加速しています。その代表的な企業としてTBS・電通の新たなトップお二人にご登壇いただき、それぞれが目指すコンテンツビジネスの方向性や、これから自社や業界をどう変えていこうとしているのか、テレビ局・広告会社の枠を超えて「日本のコンテンツ産業」をどう盛り立てていくべきかについて、コンテンツへの強い愛を持つビデオリサーチの新社長・石川と共に語っていただきます。</p>	 <p>株式会社TBSテレビ 社長兼取締役 龍宝 正峰氏</p>  <p>dejihi(デジヒ) CEO 株式会社電通 代表取締役社長兼執行役員 佐野 保氏</p>  <p>株式会社ビデオリサーチ 総務・ソリューションズユニット ビジネスアクセスグループ グループマネージャー 石川 豊</p>
<p>● 休憩</p>	
<p>13:05-13:55 SESSION2 テレビの虜にさせるシカケ</p> <p>いま世の中には様々な動画プラットフォームが存在し、日々大量のコンテンツが提供されています。そのような時代に、放送局の番組が選ばれ、生活者を虜にするためには何が必要でしょうか？話題のバラエティ番組制作者が何を考え、何を大切に、視聴者を惹きつけるためにどのような仕掛けをしているのかをお伺いすることで番組制作のヒントをお伝えするとともに、“テレビ”だからこの強みや“テレビ”ならではの将来への期待をお話しいたします。</p>	 <p>株式会社TBSテレビ コンテンツ制作部 バラエティ制作第二 「タリット」プロデューサー 辻 有一氏</p>  <p>株式会社フジテレビジョン 番組制作のエンターテインメント バラエティ制作部 新しいカタチのチーフプロデューサー 矢崎 裕明氏</p>  <p>株式会社ビデオリサーチ 総務・ソリューションズユニット ビジネスソリューショングループ グループマネージャー 北澤 由美子</p>
<p>● 休憩</p>	
<p>14:10-15:00 SESSION3 地域資源でチャンスを開け！ローカル局の挑戦</p> <p>テレビ離れ・人口減少など、ローカル局を取り巻く環境が厳しい今、地域独自の文化や歴史を資源に浮上する秘訣はあるか？地元の思いを込めて、長崎・金沢から取組事例の成果と課題、そして地方ならではの魅力と、ローカル局の使命を語ります。</p>	 <p>株式会社長崎国際テレビ 取締役営業推進部長 筑紫 浩一郎氏</p>  <p>北陸朝日放送株式会社 副社長 金子 美奈氏</p>  <p>株式会社ビデオリサーチ ビジネスアクセスユニット ビジネスアクセスグループ グループマネージャー 合田 美紀</p>
<p>● 休憩</p>	
<p>15:15-16:05 SESSION4 アニメコンテンツの事業化・広告活用について</p> <p>権利保有者中心に市場形成がなされているアニメビジネスですが、権利がない企業でも許諾を得ることで、アニメコンテンツを活用することができます。本セッションは、事業化・広告活用の地味ながら昨今のトレンドについて、事例を用いて解説いたします。</p>	 <p>株式会社テレビ東京 専任取締役 川崎 由紀夫氏</p>  <p>株式会社電通 IP/ローカル/リアル/デジタル/注目の 部長 (General Manager) 木村 朋枝氏</p>  <p>株式会社ビデオリサーチ ビジネスアクセスユニット ビジネスアクセスグループ グループマネージャー 佐藤 誠</p>
<p>● 休憩</p>	
<p>16:20-17:20 SESSIONS-A マーケティングの潮流とメディアプランニングのこれから</p> <p>生活者のメディア接触が分散化される中、メディアの在り方や役割も大きく変化しています。マーケティングやメディアプランニングのトレンドやこれからの変化について、最新の取り組みをお話しいたします。</p>	 <p>Uher Saku Japan 同会社 マーケティング部 マーケティングマネージャー 阿部 ひとみ氏</p>  <p>株式会社博報堂DY メディアパートナーズ 総務アカデミックプロデュース部 Account Executive 専任 部長 佐々井 美嘉氏</p>  <p>株式会社ビデオリサーチ 総務・ソリューションズユニット ビジネスソリューショングループ グループマネージャー 鈴木 康啓</p>
<p>17:20-17:40 SESSIONS-B 日本はどうする？海外のトータルオーディエンス メジャメント事情から考える</p> <p>世界的にも、テレビメディア・テレビ広告を取り巻く環境は大きく変化。CTV・ストリーミングサービスの視聴拡大は大きなトレンドとなっています。生活者の行動変化に対して海外の放送局はどのようなビジネス対応をしようと考え、どのようなメジャメントが検討されているのか。現在の最新情報を通してこれからのヒントや議論すべき課題についてお話しいたします。</p>	 <p>株式会社ビデオリサーチ ビジネスアクセスユニット グループマネージャー 小木 真</p>



PRESS RELEASE

●株式会社ビデオリサーチ

株式会社ビデオリサーチは、テレビも含めた動画ビジネスを支えるデータ&システム会社です。テレビ視聴率データを提供する調査機関として 1962 年に設立し、以来、日本国内におけるテレビ視聴率調査をはじめとした各種メディアデータやマーケティングデータなど最先端のデータを提供し、企業のマーケティング課題解決のトータルサポートを行っています。